


政務活動費交付請求書

2026年3月31日

四日市市長

会派名 フューチャー四日市
代表者氏名 樋口 龍馬 

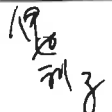
四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、令和8年3月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請求額 251,623円

2 政務活動費の対象となる経費

区分	金額	備考
調査研究費	188,090	視察旅費
研修費	25,000	研修受講料
資料作成費		
資料購入費		
要請・陳情活動費		
会議費		
広報費	2,900	街頭市政報告(道路占有、駐車場)
広聴費		
人件費		
事務費	35,633	コピー機リース、カウント、事務用品等
合計	251,623	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。

経理責任者


内訳明細

2026 年 3 月分 No. 4

区分	金額	内容
調査研究費	188,090	タイ王国 (PAT、JETRO、YUSEN Logistics Thailand、Mr. Tanai、ロイヤルプロジェクト)
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
要請・陳情活動費		
会議費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務費		
合計	188090	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	フューチャー四日市							
参加者氏名	樋口 龍馬							
用務先	タイ(バンコク)							
実施日	令和8年2月5日 (木) ~ 令和8年2月9日 (月)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
2/5	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1、2泊目) 2/6~8	(1、2泊目) 2/6~8
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,720 円	円	朝食付	バンコク
	品川 ~ 羽田 空港	14.5 KM	私鉄	330 円	円	円	7,200 円	49,384 円
2/6	羽田 空港 ~ スワン ナプーム 空港	4590.0 KM	航空機	101,470 円	円	円	基準額 5,400円 × 2/3 =3,600円 (2泊分)	【上限額】
2/8	スワン ナプーム 空港 ~ 羽田 空港	4590.0 KM	航空機	↓ 円	円	円		(44,000 円)
2/9	羽田 空港 ~ 品川	14.5 KM	私鉄	330 円	円	円	(3泊目) 2/8~9	(3泊目) 2/8~9
	品川 ~ 名古屋	359.2 KM	JR	6,380 円	4,720 円	円	食事なし	東京都
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	2,400 円	7600 円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(27,000 円)
	~	KM		円	円	円	(4泊目)	(4泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				116,410 円	10,480 円	0 円	9,600 円	51,600 円
合 計				188,090				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

2月5日		2月6日		2月7日		2月8日		2月9日	
近鉄四日市駅	18:21	羽田空港	1:25	ホテル発	10:30	ホテル発	10:00	品川駅	7:19
近鉄名古屋駅	18:50	スワンナブーム空港	630	Mr. Tanai	11:00	スワンナブーム空港(着)	11:30	JR名古屋駅	8:48
JR名古屋駅	19:12	鉄道移動(発)		Mr. Tanai	12:30	スワンナブーム空港(発)	14:25	近鉄名古屋駅	9:10
JR品川駅	20:43	ホテル(チケットイン)	10:00	昼食(市内)		羽田空港(着)	22:10	近鉄四日市駅	9:37
京急品川駅	21:03	PAT	10:45	ロイヤルプロジェクト調査	14:00	ホテルチケットイン	24:00		
羽田空港第1第2ターミナル駅	21:26	昼食(市内)		ホテル	17:30				
		YUSEN Logistics	16:00		18:00				
		ホテル	18:30						

2月5日は議案聴取会であったため、

翌日2月6日のスケジュールに合わせ

るには羽田発の便を利用する必

要があった。

翌日の委員会議案聴取会に間に合

わせるため、羽田着の便に乗る必

要があった。

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER

領収書
RECEIPT

ISSUED DATE

2026/02/04

印紙

No. E2ORCP260204114153

収納年月日 2025/11/19
RECEIVED PAYMENT ON

予約番号 E2ORCP
RESERVATION CODE

宛名
RECEIVED FROM

HIGUCHI/RYOMA MR

金額
THE SUM OF

JPY126440-

但し
IN PAYMENT OF

航空券代として
2052427056801

支払方法
FORM OF PAYMENT

クレジットカード

ANA SKY コイン

上記の金額正に領収いたしました。
ANA received the amount indicated above.

備考 REMARKS

内 SKYコイン JPY24970

日本消費税10%対象総額(税込) JPY2367

全日本空輸株式会社

ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.

登録番号 REGISTRATION NUMBER : T1010401099027

担当/HANDLED BY : c1130917



A STAR ALLIANCE MEMBER

eチケットお客様控

ELECTRONIC TICKET ITINERARY/RECEIPT

- ・搭乗手続き時、又は、出入国審査時に提示を求められた場合には、出入国に必要な全ての書類又は滞在先住所等の情報、eチケットお客様控 (Itinerary/Receipt)、及びパスポート等の公的書類をご提示ください。コードシェア便の搭乗手続きは、運航会社で承ります。
- ・eチケットお客様控えは、旅程変更又は払い戻しの際に必要な場合がありますので、ご旅行終了までお持ちください。
- ・Please present all necessary country specific travel documentation or data such as staying address, Itinerary/Receipt, and positive identification such as passport, when you are requested to do so at check-in, or at Immigration/Customs.
- ・Please retain Itinerary/Receipt throughout your journey. Itinerary/Receipt may be required in case of itinerary change or refund.

搭乗者名: HIGUCHI/RYOMA MR

PASSENGER NAME

航空券番号: 2052427056801

TICKET NUMBER

予約番号: E2ORCP

RESERVATION CODE

発行日: 19NOV2025

DATE OF ISSUE

発行所: JAPAN - NH TYO WEB REVENUE

PLACE OF ISSUE

発行店舗コード: 16391351

ISSUING OFFICE CODE

- ・2020年3月より羽田空港国際線旅客ターミナルビルが変更されました。羽田空港を出発/到着するANAが運航する国際線は、運航便によりご利用のターミナルが異なりますのでご注意ください。また、その他のご予約便においても出発/到着ターミナルは変更となる場合があります。お客様ご自身で搭乗日当日にご確認ください。
- ・The name of Haneda Airport's international passenger terminal building has changed as of March 2020. Please be aware that the terminal for ANA-operated international departures and arrivals at Haneda Airport varies by flight. Furthermore, the departure and arrival terminals for other flight reservations may also change. Please check the terminal on your departure date.

✈ 旅程表 ITINERARY

都市/空港 CITY/AIRPORT	ターミナル TERMINAL	便名 FLIGHT No.	日付 DATE	曜日 DAY	時間 TIME	クラス CLASS	運賃種別 FARE BASIS	予約状況 STATUS	手荷物 BAGGAGE	有効期限 INVALID BEFORE/AFTER
出発 DEPARTURE			出発 DEPARTURE							
TOKYO (HANEDA)	2	NH877	06FEB2026	FRI	0125	V(Y)	VNCT1	OK	1PC	06FEB/06FEB
到着 ARRIVAL			到着 ARRIVAL		運航航空会社 OPERATING CARRIER					備考 REMARKS
BANGKOK (BKK)		座席 SEAT	06FEB2026	FRI	0630	AIR JAPAN				
出発 DEPARTURE			出発 DEPARTURE							
[2] BANGKOK (BKK)		NH878	08FEB2026	SUN	1425	S(Y)	SNCT1	OK	1PC	08FEB/08FEB
到着 ARRIVAL			到着 ARRIVAL		運航航空会社 OPERATING CARRIER					備考 REMARKS
TOKYO (HANEDA)	3		08FEB2026	SUN	2210	AIR JAPAN				

全日本空輸株式会社
ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.



CROWNE PLAZA
BY IHG
Bangkok Lumpini Park

Ramaland Development Co., Ltd.
952 Ramaland Building, 21st Floor
Rama IV Road, Suriyawongse, Bangrak,
Bangkok 10500, Thailand
Tel : 0-2632-9000 Fax : 0-2632-9011
Email : info-cpbkk@ihg.com
Website : www.crowneplaza.com
Tax ID No. 01055 32017 335 Branch 00001

CROWNE PLAZA
BANGKOK LUMPINI
BANGKOK
TID# 65809989 MID# 0250796010
STAN# 007898 INV./TRACE NO# 005150
FEB 08 26 09:23:48
MASTERCARD (Chip)
OFFLINE SALE REF. NO.:
APPR CODE: 10554/
SCAN FOR VOID
65809989005150
MT THB 9,581.95

Room No. : 2814
Arrival : 06-02-26
Departure : 08-02-26
Page No. : 1 of 1
Re-Prints : 08/02/26 09:24:03
Membership : PC 824639127
Cashier No. : MANTDUM/
Folio No. :

RYOMA/HIGUCHI
I ACKNOWLEDGE SATISFACTORY RECEIPT
OF RELATIVE GOODS/SERVICE
*** NO REFUND ***
** TRUSTED TRANSACTION **
*** CUSTOMER COPY *****
SCB EDC V4.03.07

Reference	Debit (THB)	Credit (THB)
	4,109.00	
arge	410.90	
	316.39	
	4,032.00	
07-02-26 Room Service Charge	403.20	
07-02-26 Room Vat	310.46	
08-02-26 MasterCard		9,581.95
		2602-FP-291002

Total Non Vatable Amt	0.00 THB	
Total Vatable Amt	9,581.95 THB	
Total Before Vat	8,955.09 THB	
VAT	626.86 THB	
Total	9,581.95 THB	9,581.95 THB
	Balance	0.00 THB

I agree that my liability for this bill is not waived and agree to be held personally liable in the event that the indicated person, company or association fails to pay for any part or the full amount of these charges.

Your next reward is closer than you think. Earn at least 50,000 bonus points towards the reward of your choice with Set Your Sights. Register now at ihg.com/ihgsights

Guest Signature: _____

フューチャー四日市 (樋口)

様

支払金額

7,600 円

宿泊料金: 8,600 円

クーポン利用額: -1,000 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額 7,600 円

■ 課税対象

10%対象 7,600 円

課税対象外 0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名 ひぐち りょうま

予約番号 RYa0magadm

宿泊施設 ワイヤーズホテル品川シーサイド

宿泊施設住所 東京都品川区東大井1-9-37

チェックイン日 2026/2/8

チェックアウト日 2026/2/9

宿泊人数 大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1
楽天クリムゾンハウス<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2026年3月30日

実施日時	令和8年 2月 6日（金） 11時00分～12時00分
参加者氏名	樋口龍馬
用務先	Port Authority of Thailand（タイ王国港湾公社）
対応者	
目的・内容	四日市市内事業者（中小企業、農水産業、食品加工業等）のタイ市場への販路拡大に向けた、現地の貨物受入インフラの実態把握と、輸出促進に資するフリーゾーン（保税・加工区）活用の可能性についての調査研究。

近年、タイ国内における日本食ブームの拡大に伴い、本市の特産品や加工食品、農水産物にとって同国は極めて有望なターゲット市場となっている。本市の事業者がタイへ輸出を行う際、その最大の玄関口となるのがPATの管轄するバンコク港である。本視察では、市内事業者が安全かつ確実に出荷できるルート構築の裏付けを得るため、以下の点について現状を直接確認・協議した。

- 現地受入インフラと通関事情の現状：タイにおける急増する輸入食品の取り扱い能力と、コールドチェーン（低温物流）に対応した通関手続きの迅速化の取り組みについて視察した。
- 港湾内フリーゾーン（保税區）の運用実態：タイ税関当局も公式に利用を推進している、バンコク港内の「フリーゾーン」の運用状況について確認した。単なる保管目的だけでなく、当該エリア内での加工・再梱包等の活動がどのように制度化されているかを調査した。

考察および四日市市政への反映（所感）：

本視察を通じて、四日市市内の事業者がタイ市場で競争力を持つための極めて実践的な知見を得ることができた。特に注目すべきは、バンコク港内の「フリーゾーン」の存在である。日本国内においても総合保税区域の指定を受けることで近似した運用を行うことは可能であり、近隣ではセントレア周辺において機内食を製造する食品工場などが活用している事例がある。

成果・所感

しかし、今回の視察で明らかになったのは、バンコク港におけるフリーゾーンの「圧倒的な区域の広さ」と「運用のスケール」である。現地では主に自動車産業が、部品をフリーゾーン内の工場に持ち込んで組み立て、タイ王国の関税を払わずに他国へ輸出する、あるいは完成車としてタイ国内に輸入する制度として大規模に活用している。

この巨大な特区の仕組みを、四日市市の農水産・食品分野の輸出スキームに応用する。すなわち、市内事業者が日本から一次原料を輸出し、この保税エリア内で加工や付加価値の付与を行うことで、関税メリットを享受しながらタイ現地市場やASEAN全域へ展開できる可能性が確認された。これは、単に「完成品を輸出して終わる」従来型の貿易にとどまらず、現地制度をフル活用した新しいサプライチェーン構築への転換の可能性を示唆している。

今後、四日市市議会として、本視察で得られた「タイ現地のリアルな物流・通関インフラ事情」や「フリーゾーンを活用した関税スキーム」の一次情報を、市内の商工会議所や農水産事業者へ積極的に還元・啓発していく必要がある。これにより、市内中小企業の海外進出におけるリスクを低減させ、本市独自の強力な海外販路開拓支援策の立案に繋げていく。

(参考)

当日の会話をAI要約した会議録

Appendix 1: Minutes of Meeting with Port Authority of Thailand (PAT)

Date & Time: February 6, 2026, 11:00 AM - 12:00 PM Venue: Port Authority of Thailand (Bangkok Port) Attendees: - Mr. Ryoma Higuchi (Vice Chairperson, Yokkaichi City Council)

- Representatives from PAT

Subject: Utilization of Bangkok Port Infrastructure and Free Zone for Yokkaichi's Local Exporters

[Meeting Summary / Q&A Session]

Q1 (Higuchi): With the growing popularity of Japanese food in Thailand, local businesses in Yokkaichi City—such as agricultural producers and food processing companies—are highly interested in exporting to your country. Could you explain the current capacity and readiness of Bangkok Port regarding the “Cold Chain” infrastructure, particularly for handling temperature-sensitive products like fresh food and chilled meat?

A1 (PAT Representative): We fully recognize the increasing demand for premium Japanese agricultural and marine products. Bangkok Port is well-equipped to handle cold chain logistics. We have a sufficient number of reefer plugs at our terminals to maintain the required temperature for reefer containers immediately upon discharge. We are continuously upgrading our facilities to minimize any temperature fluctuation during the cargo handling process, ensuring that the freshness of imported food is preserved.

Q1 (樋口) : タイにおける日本食の人気上昇に伴い、四日市市の農業生産者や食品加工会社といった地元企業は、貴国への輸出に強い関心を示しています。バンコク港の「コールドチェーン」インフラ、特に生鮮食品や冷蔵肉といった温度管理が必要な製品の取り扱いに関する現在の能力と準備状況についてご説明いただけますでしょうか？

A1 (タイ港湾公社代表) : 高品質な日本産農水産物に対する需要の高まりを十分に認識しております。バンコク港はコールドチェーン物流に対応できる設備を完備しています。ターミナルには、リーファーコンテナの荷揚げ直後から必要な温度を維持できる十分な数のリーファープラグを設置しています。また、貨物取扱過程における温度変動を最小限に抑え、輸入食品の鮮度を保つため、設備の継続的な改善に取り組んでいます。

Q2 (Higuchi): That is very reassuring for our local exporters. Another crucial point for Yokkaichi's food processing industry is the utilization of the "Free Zone" within Bangkok Port. Could you clarify what kind of processing or value-adding activities are legally permitted for foreign companies within this zone?

A2 (PAT Representative): The Free Zone at Bangkok Port is designed to facilitate trade and investment. For foreign products, including food materials from Japan, importers can bring goods into the Free Zone without immediately paying import duties. Within the zone, activities such as repacking, sorting, and certain levels of processing are permitted. For example, bulk ingredients can be processed and packaged for the Thai domestic market or re-exported to other ASEAN countries. This provides a significant cash-flow advantage and flexibility for supply chain management.

Q2 (樋口) : それは地元の輸出業者にとって大変心強い情報です。四日市市の食品加工業界にとって、バンコク港内の「フリーゾーン」の活用も重要なポイントです。この区域内で外国企業が合法的に許可されている加工活動や付加価値活動の種類についてご説明いただけますか？

A2 (PAT担当者) : バンコク港の自由貿易地域は、貿易と投資を促進するために設計されています。日本からの食品原料を含む外国製品については、輸入業者は輸入関税を直ちに支払うことなく自由貿易地域に商品を持ち込むことができます。区域内では、再梱包、選別、一定レベルの加工などの活動が許可されています。例えば、バルク原料を加工・包装してタイ国内市場向けに販売したり、他のASEAN諸国に再輸出したりすることが可能です。これにより、キャッシュフローの大幅な改善とサプライチェーン管理の柔軟性が実現します。

Q3 (Higuchi): If a Yokkaichi-based company imports raw materials (e.g., chilled beef or seafood) into the Free Zone, processes them, and then distributes them to Japanese restaurants in Thailand, are there any specific tariff benefits compared to standard importing?

A3 (PAT Representative): Yes. If the processing within the Free Zone adds sufficient "Local Content" (such as combining Japanese raw materials with Thai local ingredients) and changes the tariff classification (HS Code), the final product may be subject to a different, often lower, import duty when it officially enters the Thai domestic market. We strongly encourage Japanese regional exporters to study this scheme with local customs brokers, as it is officially supported by Thai Customs to boost economic activity inside the port.

Q3 (樋口) : 四日市に拠点を置く企業が、原材料（例えば、冷蔵牛肉や海産物）を自由貿易地域に輸入し、加工した後、タイ国内の日本食レストランに販売する場合、通常の輸入と比較して、関税面で特別な優遇措置はありますか？

A3 (PAT担当者) : はい。自由貿易地域内での加工において、十分な「現地調達率」（例えば、日本の原材料とタイの地元産食材を組み合わせるなど）が認められ、関税分類（HSコード）が変更された場合、最終製品はタイ国内市場に正式に輸入される際に、異なる、多くの場合より低い輸入関税が課される可能性があります。この制度はタイ税関が港湾内の経済活動を促進するために公式に支援しているため、日本の地域輸出業者には、現地の通関業者とこの制度について検討されることを強くお勧めします。

Q4 (Higuchi): I understand. This "Free Zone Processing Scheme" is an incredibly powerful tool for our local SMEs. For perishable goods that cannot be stored for long, how efficient is the customs clearance process at Bangkok Port?

A4 (PAT Representative): We have implemented digitalized systems and work closely with Thai Customs to expedite the clearance of perishable goods. We understand that for products like fresh fruits or chilled seafood, time is critical. As long as the documentation, including phytosanitary and origin certificates, is properly prepared by the exporter in Japan, the clearance can be done very swiftly.

Q4 (樋口氏) : 承知いたしました。この「自由貿易地域加工制度」は、地元の中小企業にとって非常に強力なツールですね。長期保存ができない生鮮食品の場合、バンコク港での通関手続きはどの程度効率的なのでしょうか？

A4 (PAT担当者) : 生鮮食品の通関手続きを迅速化するため、デジタルシステムを導入し、タイ税関と緊密に連携しています。生鮮果物や冷蔵魚介類などの製品では、時間が非常に重要であることを理解しています。植物検疫証明書や原産地証明書などの書類が日本の輸出業者によって適切に準備されていれば、通関手続きは非常に迅速に行えます。

Closing Remark (Higuchi): Thank you for the detailed and practical information. Today's discussion has provided clear evidence that Bangkok Port is not just a transit point, but a strategic hub for Yokkaichi's local businesses to expand into the Southeast Asian market. I will share this valuable knowledge regarding the Free Zone and Cold Chain with our local Chamber of Commerce and food industry sector.

閉会の挨拶 (樋口) : 詳細かつ実践的な情報をありがとうございました。本日の議論を通して、バンコク港は単なる通過点ではなく、四日市市の地元企業が東南アジア市場に進出するための戦略的な拠点であることが明確に示されました。自由貿易地域とコールドチェーンに関するこの貴重な知識を、地元の商工会議所や食品業界関係者と共有させていただきます。



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2026 年 3 月 30 日

実施日時	令和8年 2月 6日（金） 14時00分～15時30分
参加者氏名	樋口龍馬
用務先	JETORO Bangkok（タイ王国）
対応者	
目的・内容	四日市市内の中小企業や農水産・食品事業者によるタイ市場への販路拡大に向けた、現地の最新の市場動向、消費者ニーズ、および輸出に伴う法規制・関税障壁の実態についての調査研究。

タイにおける日本食市場は成熟期に入りつつあり、従来の富裕層向けだけでなく、中間層や地方都市へも裾野が広がっている。これは四日市市の特産品（加工食品、伊勢茶、農水産物等）にとって大きなビジネスチャンスである。本視察では、タイ市場の最前線で日本企業の支援を行うJETROバンコク事務所にて、市内事業者が進出を検討する際に直面する「現実的な壁」について協議した。

- 市場ニーズと競合状況：単に「日本産」というだけで売れる時代は終わり、タイ現地の嗜好に合わせたローカライズや、他国産（中国や韓国等）との価格競争に勝つための付加価値戦略が必須となっている現状を確認した。
- 関税と輸入規制のハードル：日本からの食品輸出において最大の障壁となる関税の仕組みや、厳格な食品輸入規制（FDA認証等）の実態についてヒアリングを行った。事前の調査や現地パートナーとの連携なしに進出することのリスクを再認識した。

考察および四日市市政への反映（所見）：

本視察により、四日市市の事業者がタイ市場へ進出するにあたっては、「市場の日本食ブーム」と「関税や規制といった制度の壁」の両面を冷静に把握する必要があることが明確となった。JETROが提供する広範なデータや支援メニューは極めて有益であるが、地方の中小企業が単独でこれらをフル活用し、複雑な関税の壁を突破するのは容易ではない。

しかし今回は、「フリーゾーンにおける食品加工工場と日本食レストランを繋ぐ新たなサプライチェーンの可能性」について深く議論したことにより、本市が乗り越えるべきいくつかの具体的課題が明確になった。まず一つ目のハードルとして、四日市食肉センターが現在タイへの輸出（認定施設）に対応していないという点である。タイへの食肉輸出基準をクリアするためには、国（農林水産省）への強い働きかけが必須となる。次に加工工程の課題として、枝肉から精肉にする「骨抜き作業（脱骨）」がタイ人の気質や労働環境に向く作業であるかを尋ねたところ、不向きである可能性が高いとの知見を得た。一方で、タイ市場においては豚や鳥に比べ「和牛」は依然として大きなチャンスがあるとのことであった。したがって、日本国内（四日市側）でどの段階までの処理・加工を行ってから輸出するべきかについて、さらに詳細な調査研究が求められる。

このように今後、四日市市商工農水部、及び四日市商工会議所に対し、本視察で得られた「タイ進出のリアルな課題」を共有する。その上で、単なる精神論の輸出奨励ではなく、本市のインフラ整備（食肉センターの輸出対応等）を含め、JETROの支援枠組みを地元企業へ積極的に繋ぐマッチング支援や、事前のマーケティング・規制調査をサポートする独自の伴走型支援策を講じていく必要がある。

(参考)

Appendix 2: JETROバンコク事務所との面談議事要旨（当日の会話をAI要約した会議録）

実施日時： 令和8年2月6日 14:00 - 16:00（※仮置き）

場所： JETRO Bangkok（日本貿易振興機構 バンコク事務所）

出席者：

- 樋口 龍馬
- JETROバンコク事務所 担当者

議題：

四日市市内の中小企業・食品事業者によるタイ市場参入の実態と、法規制・インフラ課題の抽出

【Q&A セッション】

Q1（樋口）： タイにおける日本食ブームの拡大を受け、四日市市の特産品（伊勢茶や加工食品など）や農水産物にとって大きなビジネスチャンスがあると考えています。現在のタイの消費者のリアルな市場ニーズと、日本産食品の立ち位置について教えてください。

A1（JETRO担当者）： 日本食市場はバンコクだけでなく地方都市や中間層にも広がり、完全に定着しています。しかし、その分市場は成熟しており、単に「日本産だから高くても売れる」という時代は終わりました。現在はタイ人の嗜好に合わせたローカライズ（味付けの工夫など）が求められるほか、中国産や韓国産との価格競争も激化しています。現地のニーズを的確に捉えた「付加価値戦略」が必須の状況です。

Q2（樋口）： 価格競争を避けるため、我々は四日市市から高品質な食肉（和牛や豚肉）を輸出し、現地のフリーゾーン（保税区）を活用して日本食レストラン向けのサプライチェーンを構築する構想を持っています。タイ市場における日本の「肉」のポテンシャルはいかがでしょうか？

A2（JETRO担当者）： 豚肉や鶏肉に関しては、タイ国内での生産（CPグループ等の巨大アグリビジネス）が非常に強固であり、日本産が価格競争で割って入るのは極めて困難です。一方で、「和牛（Wagyu）」に関してはタイ国内でも圧倒的なブランド力があり、依然として大きなビジネスチャンスがあります。ただし、日本から食肉を輸出するには、日本の厚生労働省や農林水産省が認定した「輸出対応施設」での処理・加工が絶対条件となります。

Q3 (樋口) : まさにその点が本市の大きな課題です。現在、地元の「四日市食肉センター」はタイ向けの輸出認定施設に対応しておらず、国への働きかけが急務だと認識しています。また、加工工程についても伺いたいのですが、例えば日本からは枝肉の状態で輸出し、バンコク港のフリーゾーン内で精肉にする「骨抜き作業(脱骨)」を行うことは、タイ人の労働環境や気質的に適していると思われませんか？

A3 (JETRO担当者) : タイにおける食品加工現場の労働環境やタイ人の気質(高度な包丁技術や緻密な手作業への適性)を考慮すると、フリーゾーン内での複雑な「骨抜き作業(脱骨)」は不向きである可能性が高いです。歩留まりの低下や品質管理のリスクを考慮すると、日本国内(四日市側)で骨抜きやある程度の精肉加工までを済ませ、現地ではスライスやパッケージングといった軽度な加工に留める方が、現実的かつ安全なサプライチェーンと言えます。

Q4 (樋口) : 非常に有益なアドバイスです。四日市側でどこまでの加工を担保すべきかという実務的なボーダーラインが明確になりました。その他、タイに進出する際に地元の中小企業が直面する規制のハードルにはどのようなものがありますか？

A4 (JETRO担当者) : 最大の障壁は、タイ食品医薬品局(FDA)の厳格な輸入規制と関税です。FDAの認証取得には時間とコストがかかり、パッケージのタイ語表記も義務付けられます。また、関税も品目ごとに非常に細かく分かれています。地方の中小企業が単独でこれらをクリアするのは困難なため、現地の信頼できるパートナー企業の発掘や、我々JETROのような公的機関の支援メニュー(事前調査・マッチング支援)をフルに活用していただくことが成功の鍵となります。

閉会の挨拶(樋口) : 本日は現場のリアルな実態を教えていただき、ありがとうございました。四日市食肉センターの輸出対応というインフラ整備の課題や、加工工程の切り分けについて、非常に解像度の高い議論ができました。この知見を持ち帰り、四日市市議会として、行政や商工会議所と連携した具体的な企業支援策に繋げていきます。

JETROバンコク事務所前で打ち合わせ後の一枚



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2026年3月30日

実施日時	令和8年 2月 6日（金） 16時00分～17時30分
参加者氏名	樋口龍馬
用務先	YUSEN Logistics Thailand（タイ王国）
対応者	
目的・内容	四日市市内の農水産・食品事業者がタイ市場へ輸出を行うにあたり、最前線の国際物流を担う民間フォワーダーから「コールドチェーン（低温物流）の実態と課題」をヒアリングし、本市発の現実的かつ安全なサプライチェーン構築のための調査研究を行う。

タイにおける日本食市場の拡大を受け、日本国内では「最新の冷蔵（CA）コンテナ等を用いれば、あらゆる生鮮食品が海運で輸出できる」という楽観的な見方が一部にある。しかし、タイ現地の物流最前線で実務を担う同社との意見交換により、極めて厳しいが有益な現場の現実を把握することができた。

- 海運による生鮮フルーツ等輸出の限界：

タイの過酷な気候（高温多湿）や通関時のタイムロス、コンテナ開梱時の温度変化リスクなどを考慮すると、イチゴや桃、葉物野菜など「足の早い生鮮品」を海運で安全に運ぶことは依然として極めて困難であるとの明確な見解を得た。

- ターゲット食材の明確化（チルド・冷凍パルクと根菜類）：

一方で、和牛のチルドブロックや冷凍海産物、タイで人気のサツマイモ等の日持ちする野菜であれば、既存のリーファー（冷凍・冷蔵）コンテナを用いた海運の「大量・低コスト」という強みが100%発揮できることが確認された。

考察および四日市市政への反映（所見）：

本視察を通じ、物流のプロフェッショナルから「海運輸出の限界と最適な用途」について客観的かつ実務的な知見を得られたことは、四日市市にとって極めて大きな収穫である。

成果・所感

今回得られた知見により、四日市市として「葉物野菜やフルーツなどの生鮮食品は航空便（セントレア等）」「現地で加工するための冷凍・チルドで運ぶ原材料（肉・魚）や日持ちする土物野菜は海運（四日市港等の港湾ルート）」という、極めて明確な輸出戦略の棲み分けを市内事業者へ発信することが可能となった。また、YUSEN Logistics Thailandはフリーゾーンにおける倉庫の経営も行っており、本市が構想する「フリーゾーン内での食品加工工場の活用」というアイデアに対して強い関心を示した。

このことから今後、この実現可能性のある物流戦略を市の商工農水部および関連企業と共有し、市内事業者が無用なリスクを避け、最も費用対効果が高く安全な手段でタイ市場へ展開できるよう、的確な伴走支援・インフラ整備の指針策定について提言していく。

(参考)

Appendix 3: YUSEN Logistics Thailandとの面談議事要旨 (当日の会話をAI要約した会議録)

実施日時: 令和8年2月6日 16:00 - 17:30

場所: YUSEN Logistics (Thailand) Co., Ltd. (バンコク都内または港湾周辺施設)

出席者:

- 樋口 龍馬
- YUSEN Logistics Thailand 担当者

議題: 海上輸送 (コールドチェーン) の現実と、フリーゾーンを活用した物流スキームの協議

【Q&A セッション】

Q1 (樋口) : 現在、日本国内では「最新のCA (鮮度保持) コンテナを使えば、あらゆる生鮮食品を海運で輸出できる」という期待が高まっています。四日市市内の事業者がタイへ農水産物を輸出するにあたり、現地の物流の最前線を担う御社から見て、コールドチェーン (低温物流) の実態と課題はどのようなものでしょうか?

A1 (YUSEN担当者) : 現場の実務から率直に申し上げますと、海運による足の早い生鮮品 (イチゴや桃などの高級フルーツ、葉物野菜など) の輸出は、依然として極めてリスクが高いです。最新のコンテナ技術をもってしても、タイ特有の過酷な気候 (高温多湿) 、通関手続きにおけるタイムロス、そして何より「コンテナを開梱した瞬間の急激な温度変化・結露」による品質劣化を防ぐことは非常に困難です。

Q2 (樋口) : なるほど。現場のプロならではの非常に厳しく、かつ重要なご指摘です。では、四日市港等の海運ルートを使ってタイへ運ぶのに適している、あるいは勝算のある食材とは何でしょうか?

A2 (YUSEN担当者) : 海運の「大量・低コスト」という最大のメリットを活かせるのは、日持ちする根菜類 (現在タイで大ブームとなっているサツマイモ等) や、チルドの和牛ブロック、冷凍海産物などの「バルク (大量) 食材」です。これらであれば、高価なCAコンテナに頼らずとも、既存のリーファー (冷凍・冷蔵) コンテナで十分に安全な輸送が可能です。

Q3 (樋口) : その「冷凍・チルドの原材料」を海運で大量に運び、バンコク港内の「フリーゾーン (保税区)」に持ち込んで、そこでスライスやパッケージング等の加工を行うというサプライチェーンを構想しています。このアイデアについて、物流事業者の視点からどう評価されますか?

A3 (YUSEN担当者) : それは非常に合理的で、強い関心を惹かれるビジネスモデルです。実は弊社 (YUSEN Logistics Thailand) もフリーゾーン内での倉庫経営を行っており、保税エリア内における食品加工工場の活用というスキームには大いに注目しています。完成品をそのまま輸入するのではなく、フリーゾーンで加工・保管し、現地の需要に合わせてタイムリーに出荷できれば、関税メリットだけでなく物流の最適化という観点でも荷主にとって大きな武器になります。

Q4 (樋口) : 御社もフリーゾーンのポテンシャルを高く評価されていると聞き、構想の確かな裏付けとなりました。最後に、これからタイ進出を目指す四日市の中小企業へアドバイスをお願いします。

A4 (YUSEN担当者) : 「高級生鮮フルーツは航空便」「加工用の原材料や日持ちする野菜は海運」という、明確な棲み分け(物流戦略)を持つことが最も重要です。市や商工会議所がこの現実的なガイドラインを事業者に示し、無謀な輸出による食品ロスを防ぎつつ、フリーゾーン等の制度を活用した賢いルート構築を支援していくことが成功の鍵となるでしょう。

閉会の挨拶(樋口) : 本日は、綺麗事ではない「海運の現実」と、フリーゾーンにおける倉庫経営の展望という、極めて価値の高い一次情報をご提供いただき感謝申し上げます。この客観的な知見を四日市市に持ち帰り、地元企業が失敗しないための的確な輸出戦略の策定に役立ててまいります。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2026年3月30日

実施日時	令和8年 2月 7日（土） 11時00分～12時30分
参加者氏名	樋口龍馬
用務先	クラウンプラザ バンコクルンピニパーク ミーティングルーム
対応者	Mr. Tanai
目的・内容	元・PAT（タイ王国港湾公社）幹部で現在は民間船会社の顧問としてタイの港湾・物流事情に精通する民間物流界のキーマンとの個別協議を通じ、公的な統計や一般的な進出支援策では見えてこない、バンコク港「フリーゾーン」を活用した極めて実践的な関税削減・高付加価値化スキームについて調査研究を行う。

タイへの食品輸出において最大のボトルネックとなる「関税」と「価格競争力」について、バンコク港の裏も表も知り尽くした同氏から、四日市市の地元企業が活用できる画期的なビジネスモデルの助言を得た。

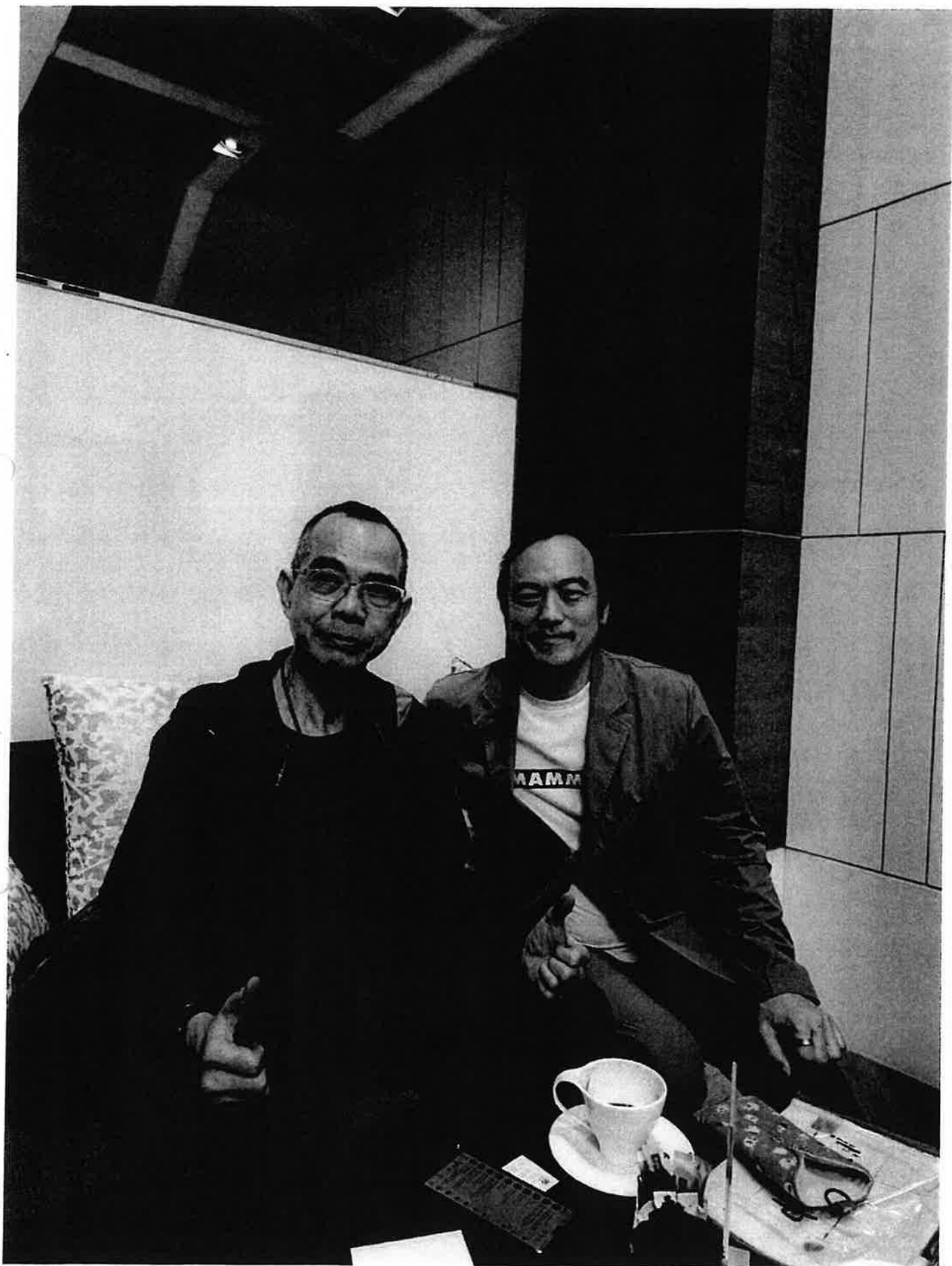
- 「輸出」から「現地加工（ローカルコンテンツの付与）」への転換：完成品をそのままタイへ輸出して高い関税を払うのではなく、バンコク港内のフリーゾーンに「原材料」として非課税で持ち込み、当該エリア内でタイ産の食材等と混ぜてローカルコンテンツ要件をクリアする加工を行うスキームである。
- 原産国・HSコード変更による関税メリット：上記の加工プロセスを経ることで、製品の関税分類（HSコード）が変更され、タイ国内へ正式に輸入される際、あるいはASEAN他国へ再輸出される際の関税を劇的に引き下げることが可能となる。同氏は「成功する企業は皆、この税関の仕組みを戦略的に使っている」と明言した。

成果・所感

考察および四日市市政への反映（所見）：

本視察を通じ、非常に価値の高い「生きたビジネス・ノウハウ」と「強力な人的ネットワーク」を獲得することができた。公的機関の支援制度（JETRO等）を活用して市場の全体像を掴むことは重要であるが、実際に市内事業者が東南アジアの成長市場で利益を上げるためには、今回同氏から得たような「フリーゾーンを民間企業としてどう活用するのか」という現地制度を熟知した実践的なサプライチェーンの知見が不可欠である。

今回構築したタイ物流界トップ層との独自のパイプと、フリーゾーン活用による関税削減スキームは、タイ進出を狙う四日市市内の食品・加工業者にとって、他市にはなかなか真似できない輸出ルートとなる。今後、この極めて価値の高い一次情報を四日市商工会議所や市内の農水産事業者、海外進出をにらむ事業者に還元するとともに、本市発の新しいビジネスモデルとなりうる加工貿易スキームの構築に向け、政策的な支援も含め強力に後押ししていく。



(参考)

Appendix 4: Minutes of Meeting with Mr. Tanai (当日の会話をAI要約した会議録)

Date & Time: February 7, 2026, 11:00 AM - 12:30 PM Venue: Crowne Plaza Bangkok Lumpini Park, Meeting Room Attendees: - Mr. Ryoma Higuchi (Vice Chairperson, Yokkaichi City Council)

- Mr. Tanai (Advisor of a Private Shipping Company / Former PAT Executive)

Subject: Practical Strategies for Tariff Reduction and Free Zone Utilization for Yokkaichi Exporters 議題: 四日市市の輸出業者のための関税削減およびフリーゾーン活用の実践的戦略

[Meeting Summary / Q&A Session]

Q1 (Higuchi): Thank you for taking the time to meet with me today. I want aiming to support its local SMEs and food processors to expand into the Thai market. However, high import tariffs and price competition are massive barriers. Therefore, I have a vision that utilizing the free zone system could open up entirely different possibilities. From your deep experience in both PAT and the private shipping sector, what is the most realistic breakthrough strategy for our local businesses?

A1 (Tanai): It is my pleasure. The biggest mistake many Japanese regional companies make is trying to export "finished products" directly to Thailand. That guarantees you will be hit by the highest tariffs. The real strategy, which successful private companies use, is to utilize the "Free Zone" at Bangkok Port not just for storage, but as a manufacturing and processing base.

Q1 (樋口) : 本日はお時間をいただきありがとうございます。私は、地元の中小企業や食品加工業者がタイ市場へ進出するための支援を目指しています。しかし、高い輸入関税と価格競争が巨大な障壁となっています。そこでフリーゾーンの制度を活用すれば全く違う展望が広がるのではないかという構想を持っています。PATと民間海運業界の両方におけるあなたの深い経験から見て、我々の地元企業にとって最も現実的な突破口となる戦略は何でしょうか？

A1 (Mr. Tanai) : お会いできて光栄です。日本の地方企業の多くが犯す最大の過ちは、「完成品」をタイに直接輸出しようとする事です。それを行うと、確実に最も高い関税を課せられます。成功している民間企業が使っている真の戦略は、バンコク港の「フリーゾーン（自由貿易地域）」を単なる保管場所としてではなく、製造・加工の拠点として活用することです。

Q2 (Higuchi): I discussed the Free Zone with PAT yesterday, but I would like to know the practical business application. How exactly does processing inside the Free Zone reduce the tariff burden for our exporters?

A2 (Tanai): It works through the "Local Content" rule. You bring high-quality raw materials from Yokkaichi-like chilled Wagyu beef blocks or frozen seafood into the Free Zone without paying import duties. Inside the zone, you process them and mix them with Thai local ingredients. If the added value reaches the required threshold (Local Content) and changes the tariff classification (HS Code), the product can be treated with significantly lower tariffs when it formally enters the Thai domestic market, or it can be exported to other ASEAN countries tariff-free under regional trade agreements.

Q2 (樋口) : 昨日、PATともフリーゾーンについて協議しましたが、より実践的なビジネスへの応用について伺いたいです。フリーゾーン内での加工は、具体的にどのようにして我々の輸出業者の関税負担を軽減するのでしょうか？

A2 (タナイ) : それは「ローカルコンテンツ（現地調達率）ルール」を通じて機能します。四日市から高品質な原材料（冷蔵の和牛ブロックや冷凍海産物など）を、輸入関税を支払うことなくフリーゾーンに持ち込みます。そして区域内でそれらを加工し、タイの地元食材と混ぜ合わせます。もし付加価値が必要な基準（ローカルコンテンツ）に達し、関税分類（HSコード）が変更されれば、その製品が正式にタイ国内市場に入る際に大幅に低い関税が適用されたり、あるいは地域貿易協定のもとで他のASEAN諸国へ無関税で輸出したりすることが可能になります。

Q3 (Higuchi): That is a game-changer. Yesterday, Yusen Logistics advised me that exporting fresh fruits by sea is too risky, and we should focus on chilled or frozen bulk ingredients. This means Yokkaichi's exporters should ship bulk ingredients by sea, process them in the Free Zone, and distribute them locally. This perfectly connects our sea route with your tariff reduction scheme.

A3 (Tanai): Exactly. That is the winning formula. Forget about risky fresh fruits by sea. Focus on bringing Yokkaichi's great meat, seafood, and root vegetables in bulk. Process them in the Free Zone to cut costs, and you will have a massive competitive advantage against other countries. You have a great vision for your city, Higuchi-san.

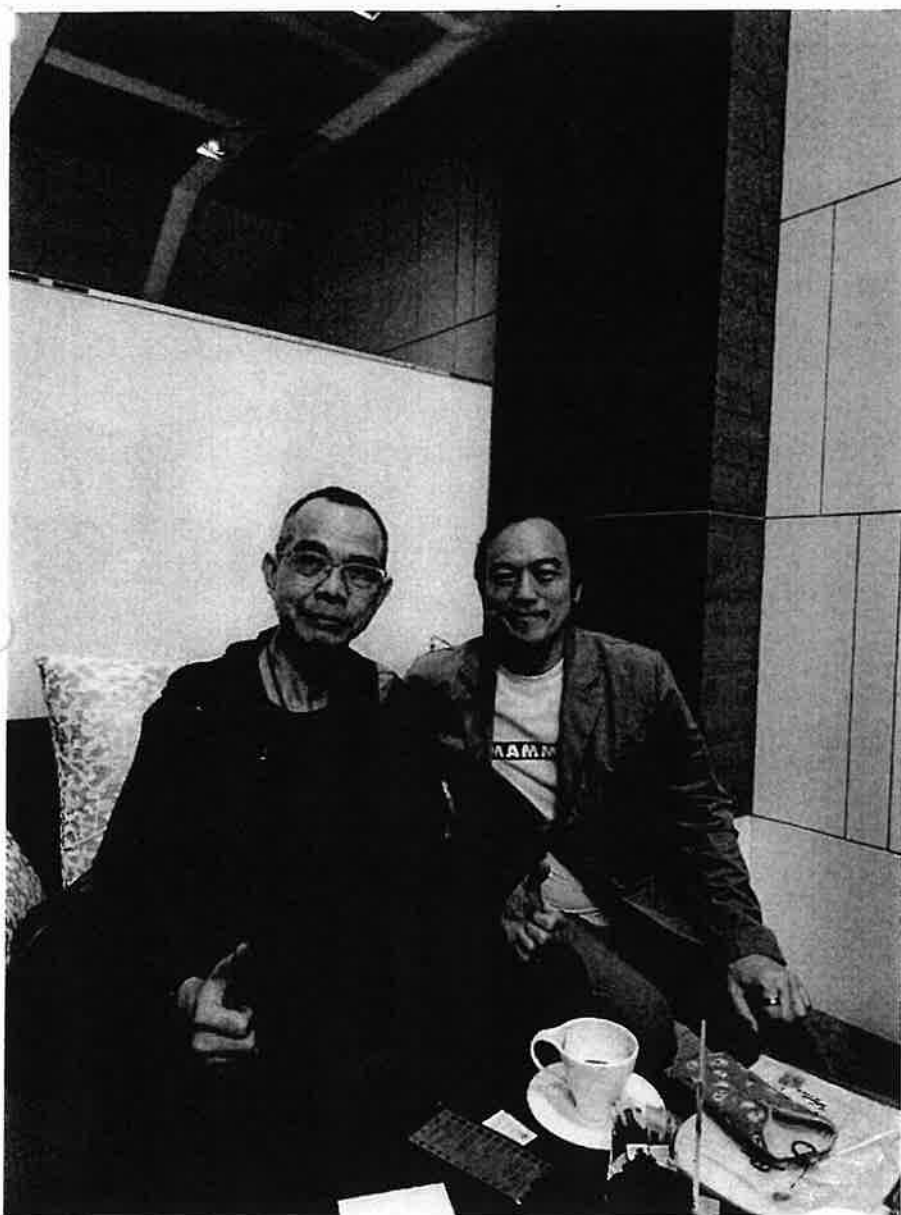
Q3 (樋口) : それはゲームチェンジャー（状況を一変させる画期的な手法）ですね。昨日、郵船ロジスティクスから「海運で生鮮フルーツを輸出するのはリスクが高すぎるため、冷蔵・冷凍のバルク（大量）食材に注力すべきだ」と助言を受けました。つまり、四日市の輸出業者はバルク食材を海運で運び、フリーゾーンで加工して現地に流通させるべきだということですね。我々の海運ルートと、あなたの関税削減スキームが完璧に結びつきました。

A3 (タナイ) : その通りです。それが勝利の方程式です。リスクの高い海運での生鮮フルーツは忘れなさい。四日市の素晴らしい肉、海産物、根菜類をバルクで持ち込むことに集中するので。フリーゾーンでそれらを加工してコストを削減すれば、他国に対して圧倒的な競争優位性を持つことができるでしょう。樋口さん、あなたは自分の都市のために素晴らしいビジョンを持っていますね。

Closing Remark (Higuchi): Thank you, Mr. Tanai. The official guidelines from institutions like JETRO are important, but this "real-world" business intelligence and your private-sector perspective are exactly what our Yokkaichi SMEs need to survive and win in ASEAN. I will take this powerful "Processing Trade Scheme" back to our city council and strongly push for policy support to make it happen.

閉会の挨拶（樋口）：ありがとうございます、タナイさん。JETROのような機関からの公式なガイドラインも重要ですが、この「現実世界」のビジネスインテリジェンスとあなたの民間部門の視点こそが、四日市の中小企業がASEANで生き残り、勝つためにまさに必要なものです。私はこの強力な「加工貿易スキーム」を市議会に持ち帰り、これを実現するための政策的支援を強力に推し進めます。

打ち合わせの後のMr. Tanaiとの一枚



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2026 年3月30日

実施日時	令和8年 2月 7日（土） 14時00分～17時30分
参加者氏名	樋口龍馬
用務先	Golden Place (Silom)、サイアムスクエア（民芸品コーナー）等市内各地
対応者	市場調査につき対応者なし
目的・内容	四日市市の地場産品（伊勢茶、萬古焼、農水産物等）の高付加価値化と海外・インバウンド向けブランディングの参考とするため、タイ国家主導の農村振興策である「ロイヤルプロジェクト（およびOTOP等の特産品振興策）」における、製品のパッケージングおよび都市部でのマーケティング実態を実地調査する。

タイでは、農村部の貧困削減と産業振興を目的として、地域で採れる農産物や伝統工芸品を高品質なブランドとして育成・販売する国家プロジェクトが機能している。本視察では、バンコク市内の関連店舗や市場を巡回し、実際の販売現場のマーケティング手法を確認した。

● 高付加価値化の成功例：

地方の村々で生産されたコーヒー豆やはちみつ、麻などの伝統的な織物が、単なる田舎のお土産としてではなく、オーガニックかつ洗練されたパッケージデザインを施されることで、都市部の富裕層や外国人観光客のみをターゲットにするのではなく持続可能な産業構造を維持するため高付加価値かつ、誰もが手にできる一般流通品として（商品によっては価格統制政策も織り交ぜ）販売されている状況を目の当たりにした。

価格統制品の蜂蜜	価格統制品の蜂蜜	価格統制品の蜂蜜	伝統の藍染
			
お茶や果汁	お茶や果汁②	食品の数々	価格統制品の蜂蜜
			

● 物語性の付与：

どの商品も品質が高いだけでなく、「どの村で作られ、どのような支援に繋がるのか」という社会的意義が商品価値を底上げしており、消費者の購買意欲を喚起する巧みな見せ方がなされていた。

考察および四日市市政への反映（所見）：

本視察を通じ、地方の特産品を稼げる産業に回帰するためには、モノの良さだけでなく、パッケージデザインの刷新とブランディングが不可欠であることを再認識した。四日市市においても、伊勢茶や萬古焼、地元農産物といった素晴らしい素材を有しているが、それらの価値を向上させる地域ブランド泗水十貨店のブランディングと産地の物語化は不十分だと認識している。タイの成功事例を参考に、本市においても単なる物産展への出品支援等で終わらせず、生産者のストーリーを付加し、ターゲットに合わせた洗練されたパッケージングを支援する視点をより明確にするよう、政策提言していく。

内 訳 明 細

令和8年 3.月分 No.7

伊世 利子

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	25,000	オンライン研修参加費
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	2,900	街頭市政報告(道路占有許可、 駐車料金)
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	0	
合 計	27,900	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和8年3月27日

実施日時	令和7年11月10日（月） 10時～16時
参加者氏名	フューチャー四日市 伊世利子
用務先	オンライン 質問力を高める、予算、決算の見方
対応者	廣瀬行政研究所 廣瀬和彦氏
目的・内容	伝わる、動かす一般質問 市民の声を政策につなげる質問力聞くことで今後の一般質問へつなげる 予算、決算質疑で成果を上げる方法について学び、数字の見方を抑えて質疑ができるようにする
成果・所感	成果：一般質問の方向性を決めること。質問の目的を明確にして制度化したいのか、モデル事業をしたいのか、予算をつけたいのか、啓発をして知ってほしいのか？ゴールのない質問はきえていく。 市民の声はデータ化できると良い。現状を分析して市民の認識を知ること。課題を構造的に分析して、具体的な解決策を見つけて

期限付きの行動、実践に移すこと。効果測定をして実のある質問に作り上げる。

所感：いつまでに何をするのか？を引き出すことが難しいと感じる。

予算では、検討する、研究するにとどまり、具体性に欠けるので、

「いつまでに何をどこまでして、予算はいくらか？」と問うことが良い。予算の質疑では一般質問の整合性を突く。「必要性をみとめているのに、なぜ予算化されていないのか？」

エリアが小さくても、まずモデル事業をやること、実証実験を限定エリアで行うことを強く言う。財源を提示する、国の補助金、既存事業の組み換え、不用額の活用を提案する。

決算では、成果が出たのか？数値で改善させる場所とする。

なぜ成果が出なかったのか？原因の分析を行う。来年度の改善点を最重要なことを提案する。決算予算への橋渡しとして「事業の効果は限

定的であった、広く効果が反映するためには予算編成に反映させるの

か？を問う。まず、問題意識を共有、予算質疑をして、決算の質疑、

再度質問をして深堀をする。一つのストーリーのようにするが、最初

は小さな政策で、モデル的に事業とする。成果を可視化して、拡大し

ていく方向性をイメージする。検討するはいつまでにするのか？期限

を入れる。難しい内容であると代替案を示していく。

市民の声は核心である。移民からの相談→一般質問の方向付け→

予算で実行→決算で改善→再提案をしていくサイクル。

具体的な内容で研修できました。これからの質問に活かしていきま

す。

資料別添付

領収書

2025年11月11日

伊世利子様

金額

¥ 25,000

但 2025年11月10日午前・午後セミナー受講料として上記正に受領いたしました。

〒112-0011

東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀨行政研究所

登録番号: T2011001095530





領収書
一般財団法人
三重県交通安全協会

四日市南地区交通安全協会

四日市市新正5丁目5-5
TEL(059)353-2212

登録番号

T4190005000469

2026-03-17 08:59
161652

道路使用許可	¥2,300	非
課税合計		¥2,300
合計	¥2,300	
お預り	¥3,000	
お釣	¥700	

領収書

Plac 近鉄四日市駅前駐車場
近鉄不動産株式会社
T6120001101143
消費税率 内税10%

入庫時間	03月24日 07:12
出庫時間	03月24日 08:28
請求金額	600円
現金	600円
領収日	2026年03月24日

内 訳 明 細

令和8年 3月分 No. 8
会派

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	35,633	SIMカード、コピー機リース、カウ ント
合 計	35,633	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

領 収 証 書 (公)


市町村コード	三重県	口座番号	加入者名
21412101211	四日市市	00820-1-960965	四日市市会計管理者
〒 510-0085			
住所 四日市市諏訪町1-5			
フューチャー四日市			
代表者 樋口 龍馬 様			

金額	¥3,927 円
納期限	令和 8 年 3 月 31 日
摘要	議員タブレットSIMカード利用料(令和8年1月、2月利用分 フューチャー四日市)

令和 7 年度 所属 951000 議事課
 会計 01 款 22 項 05 目 04 節 02
 細節 20 議会費雑入
 細々節 010 通信料負担金

納付場所

上記のとおり納入してください
 令和 8 年 3 月 13 日

四日市市長


上記のとおり納入しました。
 (納入者保管)



ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
 ご利用の明細は下記のとおりです。なお操作が正しく
 終了しなかった場合は、係までお問い合わせください。

☆☆ご出金☆☆

お取引金額	¥20,790
お手数料	¥440
お取引後残高	[REDACTED]
お受取人 三菱UFJ銀行 大津町支店 当座 0149935 リコーリース(カ)様	
ご依頼人 ヨツカイチツキ"カイ フューチャーヨツカイチ様	
電話番	[REDACTED]

取引年月日	取扱店	機番	時刻	受付番号
080324	010505111	240021		
銀行番号	支店番号	科目・口座番号		
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
通番	[REDACTED]	説明コード		

三十三銀行

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
 ご利用の明細は下記のとおりです。なお操作が正しく
 終了しなかった場合は、係までお問い合わせください。

☆☆ご出金☆☆

お取引金額	¥3,927
お取引後残高	[REDACTED]

取引年月日	取扱店	機番	時刻	受付番号
080324	010505111	200018		
銀行番号	支店番号	科目・口座番号		
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
通番	[REDACTED]	説明コード		


三十三銀行

請求明細書

契約番号	設 商	置 品	先 名	借受日等	数量 他数量分	区 分	種類	請求 金額	請求 消費税額	消費 税率	請求期間	当回数 総回数
A084708760 -000	四日市市議会会派 RICOH IM	フューチャー四日市 C4510F		230501	1		L01	18900	1890	10	26. 3. 1	35
											26. 3. 31	46
合 計								18900	1890			

10%対象額	20,790円	内税	1,890円
*****		**	
*****		**	
*****		**	
*****		**	

発行日 2026年 3月 11日

リコーリース株式会社


登録番号 T7010601037788

請求書

拝啓、毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
 今月分のご請求額は下記の通りとなっております。
 ご査収の上、宜しくご手配いただきますようお願い申し上げます。

請求書番号 202603-1-009938

お支払い期日	2026年 3月 31日
ご請求金額	20,790円

明細は裏面をご確認ください

振込先口座	三菱UFJ銀行 大津町支店 当座 0149935
-------	--------------------------

〈お願い〉

- お振込みの際の手数料は貴社ご負担でお願い申し上げます。
- お支払いにつきましては、上記銀行の「リコーリース株式会社」名義の口座宛に右面の振込依頼書をご持参の上お振込みくださいますようお願い申し上げます。
 (お振込人名とお客様名が異なりますと入金確認が遅れる場合もございます)
- 既にお支払済みまたはお取引内容に変更のある場合は、ご了承ください。

料金後納
郵便

〒510-0085

三重県四日市市諏訪町
1-5

四日市市議会会派 フューチャー四日市 御中

お客様番号 L010083800-000 001321



002 0001660#0001660 0000002
0001662 A SHN002 001/001

この印刷物は環境にやさしい植物性大豆インクを使用しています。

ご請求書

〈お問合せ先〉

リコーリース株式会社
 〒451-6008
 名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー 8F
 中部支社 愛知第一支店 1課グループ

050-3819-5216

より同様に謝辞が、てくがさい。

000166



振込日	振込金額(円)	お預り金額(円)	差引	残高(円)
8-3-24	200	(# 817954) 繰越		*71,922 105
8-3-24	200	*3,927 ATM支払		*67,995 105
8-3-24	200	*20,790 リコーリース(カ)		*47,205 105
8-3-24	200	*440 ATM振込料		*46,765 105

T1-00
 小切手、手形等入金 (OOは、払戻しができる予定の日を表示いたします。
 また払戻しできる時刻は小切手等の種類によって異なります。詳細は「T1
 お問い合わせください。)

振込金(手数料)受領書

金額	20790
お振込先	三菱UFJ銀行 大津町支店
受取人	預金種目 当座 口座番号 0149935 口座名義 リコーリース株式会社
ご依頼人	2026031009938 ヨツカイチシキ"カイカイハ フューチャーヨツカイチ

上記金額正に受取りました。
 (取扱店)

銀行 収 入
 店 印 紙

電信振込 振込依頼書


ご依頼日	年 月 日	電信振込	手数料
お振込先	三菱UFJ銀行 大津町支店	金額	20790
受取人	預金種目 当座 口座番号 0149935 口座名義 リコーリース株式会社		
ご依頼人	請求番号・ご依頼人 2026031009938 ヨツカイチシキ"カイカイハ フューチャーヨツカイチ	収納印または振替印	
	住所三重県四日市市諏訪町1 -5		
	お電話 059-354-8257		

手数料は貴社ご負担でお願い申し上げます。

符号	お支払金額	お預り金額	摘要
7-11-20 200	*10,466	RL)リコ-ジ"パ"ン(*101,887 105
7-11-27 200	*30,000	A T M支払 (お返へ)	*71,887 105
7-11-27 200	*20,700	リコ-リス(カ)	*51,187 105
7-11-27 200	*440	A T M振込料	*50,747 105
7-12-22 200	*1,365	RL)リコ-ジ"パ"ン(*49,382 105
7-12-24 200	*20,810	リコ-リス(カ)	*28,572 105
7-12-24 200	*440	A T M振込料	*28,132 105
7-12-24 200	*3,934	A T M支払	*24,198 105
7-12-24 200	*70	リコ-リス(カ)	*24,128 105
7-12-24 200	*440	A T M振込料	*23,688 105
7-12-24 100	A T M入金	*440	*24,128 105
8- 1-20 200	*5,861	RL)リコ-ジ"パ"ン(*18,267 105

8- 1-22 900	セ"カ"ツト"ウ"ビ(オ"カ"イ)	*58,225	*76,492 105
8- 1-23 200	*20,790	リコ-リス(カ)	*55,702 105
8- 1-23 200	*440	A T M振込料	*55,262 105
8- 2-20 200	*7,639	RL)リコ-ジ"パ"ン(*47,623 105
8- 2-21 100	お利息	*45	*47,668 105
8- 2-24 900	セ"カ"ツト"ウ"ビ(オ"カ"イ)	*27,091	*74,759 105
8- 2-24 200	*20,790	リコ-リス(カ)	*53,969 105
8- 2-24 200	*440	A T M振込料	*53,529 105
8- 3- 5 200	*3,934	A T M支払	*49,595 105
8- 3-23 200	*10,476	RL)リコ-ジ"パ"ン(*39,119 105
8- 3-24 900	セ"カ"ツト"ウ"ビ(オ"カ"イ)	*32,803	*71,922 105

*** 新しい通帳に繰越致します。



 A...現金入金
 B...振替入金
 C...現金出金
 D...振替出金
 E...ATM入金
 F...ATM出金
 G...お預り金額
 H...お支払金額
 I...合計
 J...残高

【繰越新帳へ繰越】

CD...現金自動支払機からのお支払
 タコウCD...提携銀行の現金自動支払機からのお支払

符号	お預り金額	お支払金額	差引	残高(円)
8- 3-24	(# 817954)	繰越		*71,922 105
8- 3-24 200	*3,927	A T M支払		*67,995 105
8- 3-24 200	*20,790	リコ-リス(カ)		*47,205 105
8- 3-24 200	*440	A T M振込料		*46,765 105

ご請求書

(兼 振替予定金額のお知らせ)

発行日 2026年 02月 27日 請求No. 26027809385

登録番号: T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
TEL: 0120-611-099



会派フューチャー四日市 様

お客様コード 6262799 (50710009885)

ご請求金額 (税込) 10,476 円

振替銀行 支店 種類 口座番号
三十三 四日市市役所内支店 普通 *****

左記の通りご請求申し上げます。2026年02月28日締分振替口座は下記の通りです。
2026年03月23日に左記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月日	商品名	伝票No.	数量	単価	お買上金額 [税抜]	消費税金額
02.16	RICOH Pトナー ブラック IM C6010	463763	1	0	0	—
02.26	IMC4510 ハードディスク	578001			9,524	—
	合計				9,524	952
	お買上金額				9,524	952
	10%対象				9,524	952

【お知らせ】 お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願いします。手数料不要の口座引落もご利用しております。

ご請求書

228A6RK0020754#

RICOH

※差出人還付先情報は裏面に記載

リージャパン株式会社

お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
〒江の木町3-4-5

0120-611-099

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

くりはがし中をご確認ください。同様に裏面の左下からもはがして中を覗く場合があります。十分に乾かしてから開けてください。

裏面をご確認下さい。